

平成23年度第2回富士見市スポーツ振興審議会 議事録

日時：平成23年6月28日(火) 午後7時30分～9時30分

場所：中央図書館 2階会議室

出席者：押田、山口、谷澤、羽深、清水、小野寺、佐藤、大竹、猿渡（委員）

永瀬課長、加藤副課長、高見、岡本（事務局）

\*会議に先立ち任命書交付式を開催

1. 任命書交付
2. あいさつ…教育長
3. 自己紹介
4. 閉会

**第1回富士見市スポーツ振興審議会**

1. あいさつ
2. 連絡事項  
スポーツ基本法、富士見市第5次基本構想、富士見市生涯学習推進基本計画等に関して連絡と説明
3. 正副会長選出  
…互選により、清水委員を会長に山口委員を副会長に選出。

4. 議事（進行：会長）

(1) 平成22年度生涯学習課スポーツ担当主要事業報告について（説明：事務局）

- ・平成22年度スポーツ大会出場選手等激励金交付状況一覧  
→激励金制度の概要説明。前年度の交付総額は125,000円であった。
- ・平成22年度社会体育施設利用統計  
→学校開放利用状況の利用者数については、横ばいの傾向にある。今後も地域スポーツの場として重要な位置づけとして展開していきたい。また、平成23年度から仕組みが変わり、土曜の日中も教育委員会で管轄することとなった。また、鍵の管理においても、学校の近隣公共施設で貸出を行うこととした。  
市民総合体育館の利用状況については、昨年度は大規模改修工事が行われ、利用が出来ない期間があったため、利用者数が減少している。ただ、稼働率には大きな変動は無い。  
ガーデンビーチの入場者数については、猛暑の影響で、平成21年度と比較して約25,000人増加した。
- ・平成22年度生涯学習課事業報告  
→生涯学習課では、メジャーなスポーツではなく、ニュースポーツに焦点を当てて、スポーツ教室や講習会の事業を展開している。新しい事業としては3B体操教室とウォーキング教室があり、前者は60歳以上の高齢者を対象に、外出させることを狙いとして開催した。後者は手軽なスポーツとして流行し、埼玉県としても「まちづくりウォーキング」として奨励しているウォーキングについて、正しい歩き方等を学ぶ機会として開催した。ウォーキングは台風のため、全2回中1回を中止とした。
- ・平成22年度第32回市民健康増進スポーツ大会事業報告  
→市の体育協会に委託して開催しているのもで、前回からペタンク、ソフトバレーボールが新種目として加わった。
- ・平成22年度市民総合体育館自主事業  
→市民の健康増進とスポーツ振興を図るため、表のとおり開催。
- ・平成22年度ガーデンビーチ自主事業  
→リピーターを獲得するための取り組みとして、表のとおり開催。

(2) 平成23年度生涯学習課スポーツ担当主要事業計画について（説明：事務局）

・平成23年度生涯スポーツ事業計画書

1. 生涯スポーツの推進

→未定な部分が多いが、前年度と同じく、ニュースポーツに焦点を当てて開催していく。体育指導委員地区事業（バドテニス）については、この6月にも教室を開催し、7月2日には第2回大会も開催する。

ヘルシーウォークについては、雨天での開催となったが、307名の参加があった。スポーツ指導者養成講座については、決定ではないが、福原愛のコーチも務めた高林慧氏に講師となっていていただく計画がある。

スポーツ安全保険については、スポーツ安全協会が主体となっている保険で、生涯学習課と市民総合体育館に加入依頼書を設置し、市の広報や学校開放の会議でお知らせするなど、加入促進を図っている。

2. スポーツ団体の育成・組織化の推進

→体育協会等と、情報交換をして連携をとり、市のスポーツ振興にあたっている。また、生涯学習課がスポーツ少年団の事務局となり、情報提供を行っている。さらに、③の表の団体に対して補助金を交付することにより、スポーツ活性化の援助を図っている。

3. 施設の整備促進及び施設の有効利用の推進

→特筆する点として、市民総合体育館の柔道場の畳を国際基準に合わせたものに交換する予定。使用済みの畳は各学校にて再利用していただく。また、ガーデンビーチの今年度の開催期間は7/9～8/31。節電のため、様々な対策を立てて開場していく。現在、放射線水質検査実施中。8月にも検査を行う。

・平成23年度生涯スポーツ主要事業別予算

→生涯スポーツ推進事業の報償費について、学校開放管理指導員謝礼の減384千円とあるが、これは前述のとおり鍵貸出業務の依頼先が市民から公共施設に変更となっただけのためである。

生涯スポーツ推進事業の委託料について、健康増進スポーツ大会委託料の増307千円とあるが、これは前述のとおり、種目が2種目増えたためである。

社会体育施設維持管理事業について、多数工事を予定している。

なお、今年度がガーデンビーチの指定管理の最終年であり、9月に改めて募集を行う。ちなみに、市民総合体育館は3年目である。

☆質 疑

委 員：小中学校のプールの水質検査は行ったのか

委 員：つるせ台小学校とみずほ台小学校の2校で水質調査を行った。その他の学校は大気の調査。そもそも富士見市のプールに入る水道施設において検出されなかったので問題はなかったのだが、一応調査をしてみた。異常はなかった。

(3) スポーツ・レクリエーションの推進と課題について（意見交換）

委 員：小体連の会長として力を注いだのは、連合運動会の復活。かつては入間東部地区で開催されていたものだが、15年前に廃止となった。4年前から親善陸上として復活させた。2会場に分けて、1会場5～6校を集めて開催。いずれは大きな1会場を確保して開催したい。今年は、諏訪小で開催したが、ギリギリであった。陸上出来る場が欲しい。

地域との連携という点では、地区体育祭について、水谷小・南畑小は子どもの参加が多くあったが、現在赴任している勝瀬小は子どもの参加が大分少なかったが、少しずつ増加させることに成功している。参加する子どもの中に、ふじみ野小の子どもが入っていない。同校は児童数が一番多い。勝瀬がふじみ野の会場だが、ふじみ野小で地区体育祭が開催できれば。

委 員：親善陸上の種目は？

委 員：80m走とドッジボール投げ、幅跳び、リレー、1000m持久走等。

委 員：日本体育協会・オリンピック委員会が今年で100周年。東京にて最後の催し物が開催される。「健康であれば病気にならない」という気概で体育協会をやっている。

高槻市の体育協会が落雷の賠償で破産となった。埼玉県は県内全ての体育協会に賠償保険に入るシ

システムを作っているところだ。地区体育祭もその保険に入れてしまえないかと考えている。

委員：小体連・中体連は保険に入っているか？

委員：入っている。

委員：バトテニスというニュースポーツの振興を図っているが、なかなか進まない。教室を開催すると70歳くらいの方まで、老若男女参加してくれているが、進めていくとカテゴリー分けが必要になってくる。

数名集まらなると出来ないスポーツがある中で、バトテニスは4人いれば出来るので、簡単なスポーツとして周囲の色々な方を巻き込んでいきたい。10年やったら体指の手から切り離せるよう努力していく。7月からサークルを立ち上げることになった。中心となる愛好者を早く見つけて、自立させていきたい。

委員：部活の大会を平日に開催している。サッカーと野球に関しては、2日間開催し、1日平日1日日曜日で開催。授業時間数を確保しながらも、保護者が応援しやすい土日中心で開催していくことを検討している。土日に学校会場を確保すると、地域のスポーツ団体の使用可能日が減り、理解を得られるかどうか。

また、週5日のうち、5時間の日が1日、6時間の日が4日となる。すると、部活の時間が削られることになる。土曜に授業をすることも検討しているが、土曜に活動する地域のスポーツクラブに定着してきた子どもをどうするかが課題。

委員：富士見市民になって10年。他の町の施設を見ると、富士見市の施設は少し遅れている気がする。吉見の運動公園は見た途端に走りたくなるような雰囲気がある。富士見市の運動施設は何もない、あっても壊れているような状態。市の史跡を活かし、史跡や公園を巡るようなウォーキングコースが整備されていたら良いと思う。

委員：健康増進には運動が欠かせない。運動時の骨折等を防止するのが医療の役割。高齢者が家に引き篭もらえないような機会を設けていただけたら。高齢者に限らず、子どもも同様に、最近の子どもはゲームをして運動をしない。そのことが体力だけでなく、免疫力を低下させているようだ。色々なイベントをもっと一般的に知られるように開催してほしい。

事務局：競技種目だけでなく、高齢者向けの種目を推進してほしいという教育委員の意見もある。60～70歳の方を対象に市民大学のスポーツ版が作ればと考えている。単発で終わってしまう教室が多くなりがちであるが、施設管理公社と調整して開催していきたい。

事務局：今後、会長と相談し、必要に応じて自主的な意見交換会や施設見学会の開催を考えたい。

事務局：現場を見て議論を深めていければと思う。

#### (4) その他

…特になし

#### 5. その他

…特になし